

「産地間人財リレーに関する連携協定」を締結し、産地間で人材共有を行い、繁忙期における人材不足を解消

【経緯等】

（一社）宮崎県農業法人経営者協会は、多くの会員で労働力が不足している状況の中、婦恋キャベツ振興事業協同組合（群馬県）と（株）ウイルテック（大阪市：人材派遣サービス会社）との3者で「産地間人財リレーに関する連携協定」を締結（令和5年3月1日）。繁忙期の異なる他産地との連携によりリレー雇用を行い繁忙期における労働力不足を解消する取組を進めている。

【取組内容等】

（株）ウイルテックがミャンマーとベトナムで運営している日本語学校で教育を受けた外国人材を農業現場に紹介。夏場に群馬県等（北関東エリア）でキャベツ、レタス等の収穫に従事していた外国人が、11月から宮崎県に移動してキュウリ、ダイコン等の収穫作業に従事している。今年度は、群馬県等からの移動者を含め46名の外国人が、6法人で働いている。

受入先の法人からは、日本語能力のレベルが高い、技術取得が早く、細かいところまで気が付くなど評価は高く、外国人のきめ細やかな技術のおかげで、過去最高の収量をあげた法人もある。

今回の連携協定により、繁忙期における労働力不足の解消につながったものの、外国人の住居が農地から遠いなどの課題がある。このため、宮崎県を含む関係者で連携しながら課題解決に向けた取組を進めている。

【今後の事業展開】

今回の外国人受入の取組みの課題や対策等を検証しながら、これをモデルケースとして、県下全体の取組みに発展させていきたい。

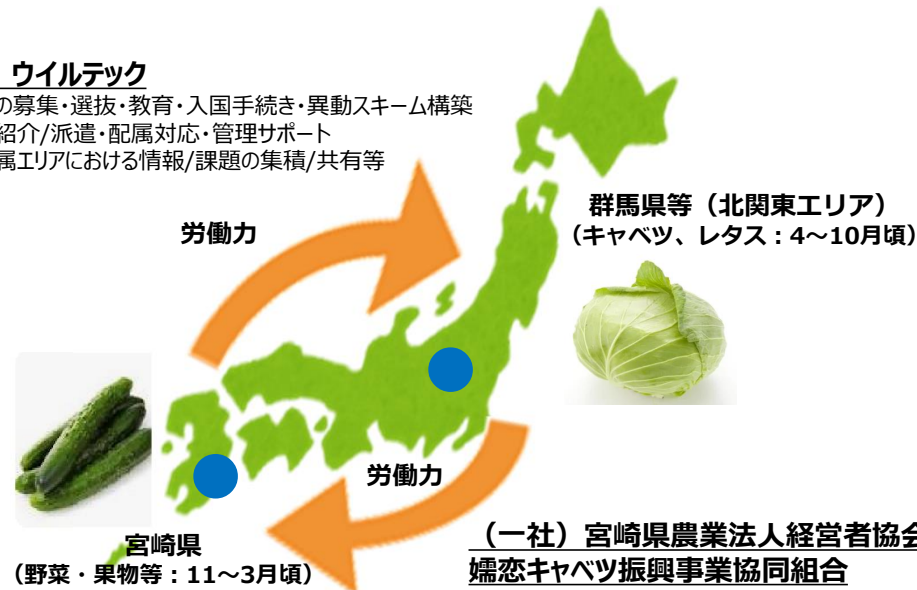
今後、更に多くの外国人を受け入れていくためには、受入側も外国人の文化や生活習慣等への理解や受入環境の整備等に対応する必要があることから、そのための研修会等を開催するなど受入体制を整備している。

また、外国人が帰国後、母国の農業の発展につながるような活躍ができるよう受入側でしっかりと技術を教えていきたい。

【連携協定の内容等】：人財の確保・共有、海外人財の受入、就労環境・条件の整備、生活環境の整備等

（株）ウイルテック

- ◇人財の募集・選抜・教育・入国手続き・異動スキーム構築
- ◇人財紹介/派遣・配属対応・管理サポート
- ◇各配属エリアにおける情報/課題の集積/共有等



（一社）宮崎県農業法人経営者協会 婦恋キャベツ振興事業協同組合

- ◇各農業法人（農家）ごとの必要人員数の把握/共有
- ◇協会員（組合員）に対する情報発信/窓口業務
- ◇受入環境/時期に関する整備の課題整理等



協定締結式（令和5年3月1日）



キュウリの摘葉作業